

F I W C 関東 定例委員会報告 2009年1号

2009年 第1回 定例委員会

日時：1月17日(土) 13:30 - 17:00

場所：泉岳寺キリスト友会東京月会

参加者：緒方健太、吉田亮輔、矢口晃士、五十嵐美穂子、水野翔太、児玉祐史、高橋真代、原田真二、清水あゆこ、雨宮広樹、林尚徳

ネパール報告 報告者 林尚徳

キャンプを前にして、ミーティングを行っているとの報告をうけ、ミーティングでは何を話しているのか？ キャンプ参加者からはワークの必要性についての疑問があがるのか？ ミーティングでの優先順位とはなにかと言う質問が挙げられた。

フィリピン報告 報告者 水野 翔太

過去のキャンプ地の使用状況確認と、夏のキャンプ地を探しにフィリピンに行く。現地 NGO との協力より現地に住む人との関係を大切にしたい下見を計画。また現地エンジニア(ロクロクさん)に今回も協力してもらうかを決めたい。20 日間で、下見して、決定して、準備して帰ってくる予定。

そんな下見について、いくつか質問が挙がった。以下質問と回答。

- ・現地との連絡はしているのか？ まだしていません！
 - ・ならばいつ連絡するのか？ 明日します！
 - ・下見マニュアルはあるらしいが、それは役に立っているのか？ 知らなかった。
 - ・キャンプ地を決定する理由は？ まだ考えてる。
 - ・市との協力・連携はどこまでするのか？ 予算等を考慮に入れて決める。
 - ・それって NGO なのに政治とべったりじゃないの？ 第三機関をいれてみたら？
- 下見の方法について質疑が続いたので、去年はどのように決めたのかを 08 年リーダーの雨宮広樹に訊いてみた。

「現地に行って本来の目的からずれない為に、日本でチェック表を用意した。それには絶対外せない条件が 5 つくらいあり、1 つでも条件が合わなければ、キャンプ地候補にはしなかった。今後そういったノウハウを次の世代に伝えてゆきます。」

中国報告 報告者 高橋 真代

高橋真代、江口潔和、鄧晶音の三人で以下の日程下見に行く。

- 1月27日 日本人キャンパー 広州 集合
- 1月28日 日本人3人 土光村
- 1月31日 海南省に集合 下見開始
- 2月6日 解散

海南省にはハンセン病快復村が 15 あり、JIA は今まで 6,7 回の訪問をしているが、ワークキャンプが開催されたことはない。ワークニーズがあって、日本人が継続してやれる場所を探したい。また、中国の学生とワークキャンプの継続性の話をできなかったから、今回はそれもしたい。

韓国報告 報告者 清水 あゆこ

今年のキャンプリーダーがいらない。去年のキャンプメンバーの中からリーダーを決められなかったのが原因だ。尤も参加者は社会人、関西人で関東の学生がいなかったのも要因だが、去年、何故ワークキャンプをしたか？ つながりを絶やしたくないからだ。なんとかしなくては...

いまの目論見。韓国キャンプ in Japan をやれないか？ (留学生が多いし) 韓国もハンセン病への問題意識がない。だから日本の療養所でキャンプできたらいい。

以上の報告を受け、「リーダーってなに？ キャンプに全日参加すること？ やりたいキャンプがあって、全日参加できないけど、キャンプ一緒にやりたいって人が集まればいいのか？ だからあなたがリーダーではないの？」との意見。

国内キャンプ報告 報告者 緒方 健太

国内キャンプは GW、お盆休みに、片品村へ。鴨川へは随時行く予定です。

年末キャンプ報告 報告者 高橋 真代 別紙参照。

2008 年反省と 2009 年

矢口晃士が 4 月から委員長に。四月までになにをしようかと準備をしている段階。

2008 年の目標は、あたりまえのこと(会計、定例会、広報)を当たり前前にとすることだった。

会計については、定例会で承認、報告。また、実験的に会費制度からカンパ制度になった。カンパ制でいいかの判断ができる材料不足。来月に話し合う。会計の締め日は 12 月末。

定例会は毎月必ずおこなった。単なる報告会ではなくディスカッションを行い参加型会議となる。今後も月一回行う。1 時開場、2 時スタートとなる。今後の課題は来月の定例会で何をやるのかを早めに決めること。司会、書記等分担制にすべきでは？ という意見もでた。しかし変わらない安心感もあるとの意見も。

場所についてはキリスト友会東京月会を一年間借り続けるべきでは？ との意見。その為には借りてる理由、経緯を話さないと。そもそも、FI 関東についてと、この会のスタンスをしめさないといけない。

広報はこの定例報告を Web 化し、ホームページに掲載した。発送費、作業の軽減、資料をいつでも見れるというメリット。しかし知らない人もいる。更新情報を送らなければ。

WEB だからみないわけじゃない。紙媒体の復活も。制作の人を交代させないでいいのか？ という話し合いを行った。

委員会をかためるスタッフを決めていかなければならない。

次回の定例会のおしらせ

【場所】キリスト友会東京月会

【時間】2/21(土)13 時開場,14 時開始

FIWC 関東委員会定例会 報告書

発行者：FIWC 関東委員会

カンパの募集：FIWC 関東委員会はカンパで運営しております。

振込先：郵便振替 口座番号 00170-2-565117

加入者名：FIWC 関東委員会